

# 新庁舎及び新福祉社会館の 一体整備に係る課題



**河野律子**(自民党・信頼)

①新庁舎建設に際した、清掃関連施設の暫定移設費用を含めた財源計画の策定を。  
**環境部長** 暫定移設の経費の影響も含め、検討を進める。  
**企画財政部長** 経費比較を検討し、財源見通しを立てたい。  
 ②新福祉社会館の機能面について。(ア)福祉総合相談窓口の運営

イプロモーション政策実施を。  
**企画財政部長** 方向性をもった魅力・情報発信に努めたい。  
 ④行革プランの策定に伴い、職員定数条例の改定と非常勤嘱託職員の定員管理の実施を。  
**企画財政部長** 条例改定の具体的作業に入りたい。定員管理の把握の検討をしたい。  
 ⑤商業観光の視点及び市内回遊の促進のため「はげの森をめぐる旅」の更なる活性化策を。  
**市民部長** 休憩場所の設置等、来街者の快適性の向上のため、主催者側と検討を重ねたい。



新庁舎及び(仮称)新福祉社会館の一体整備を予定する蛇の目ミシン工場跡地

# 新福祉社会館に入る機能は 女性の活躍を更に



**渡辺ふき子**(公明党)

①新福祉社会館建設基本計画では、旧福祉社会館の機能回復と言いつながりながら導入となった機能、前市長時代の計画にあったが入らなくなった機能もある。(ア)行き先の検討状況と今後の計画は。(イ)高齢者や障がい者団体等については優先利用を。(ウ)清掃関連施設の敷地内移転は不可避か。

なる飛躍を。(ア)女性総合相談の現状は。(イ)市の管理職全体の14・9%である女性管理職者の更なる登用を。(ウ)男女共同参画室のセンター化等の格上げを。  
**男女共同参画担当課長** (ア)平成28年度は105件の相談があり、今年度は相談日を19回増やした。今後、福祉総合相談窓口とも連携し、充実させたい。(ウ)センターの在り方を含め、検討する。  
**総務部長** (イ)市女性職員活躍推進プランの推進に努める。  
 ■その他、浴恩館公園の整備を要望しました。



質問の後に整備された、浴恩館公園の野外調理場

# 実効性ある障害者差別 解消条例の制定を



**水上洋志**(日本共産党)

①浴恩館公園について、下村湖人の業績など歴史的な中身を発信すべき。(ア)空林荘入口の歌碑や文化財センターの障子、野外調理場のかまどなどの整備を求め、(イ)空林荘再建を検討すべき。(ウ)市民との協議の場を設け、水路復活など、今後の在り方について検討を。

定した条文を尊重して制定すべきで、市の責任による制定の遅れは重大である。原因は。(イ)虐待や乳幼児、災害時対応等について記述すべき。教育について具体的に記述すると現体制でさらに大変になるとのことが、インクルーシブ教育や周知・啓発等、具体的に明記すべき。  
**福祉保健部長** (ア)条例内容の庁内調整に時間を要した。責任を重く受け止める。  
**統括指導主事** (イ)国や都の考えを踏まえ、特別支援教育を着実に推進する。



下村湖人ゆかりの地 浴恩館公園

# サイバーセキュリティに 関する協定を



**遠藤百合子**(自民党・信頼)

①近年、サイバー攻撃による情報流出やインターネットバンキング不正送金案の手口の複雑・巧妙化など、サイバー空間脅威が深刻化している。小金井市役所・小金井警察署・小金井市商工会が相互に連携し、協定を結ばないか。  
**市民部長** サイバーセキュリティ

つきし会と福祉避難所として協定を締結。今後も民間団体との取組を進めていきたい。  
 ③ハクビシンの害対策を。  
**農業委員会事務局長** 平成26年8月に小金井市農業振興連合会で、捕獲用の箱わなを10基購入し、農家への貸出しを開始している。  
 ④道徳教育の教科化に伴ういじめ対策は。  
**学校教育部長** 小金井市でもいじめの認知件数は増加傾向にある。早期解決への理解が浸透していると考えられる。

# 庁舎移転後のまちづくり 雨水を活用しよう



**田頭祐子**(生活者ネット)

(ア)公民館本館は、早期に本町分館からの移転が必要だが、行方が見えない。4年後に本庁舎も第二庁舎も移転すれば、人の流れは大きく変わる。にぎわいと資産活用の観点で、本町暫定庁舎用地を売却または等価交換などを行い、公民館本館を配置しないか。(イ)新福祉社会館の竣工

等々の環境も有効な資産と捉え、民間事業者の創意工夫で、市民ニーズを受け止めることを検討することも選択肢。新福祉社会館と並行して、事業スケジュール、市民参加の手法も考えたい。  
**子ども家庭部長** (イ)子育てひろば事業も含め、平成30年度にのびゆくこどもプランに関する市民ニーズ調査を実施し、子育て支援施策の策定に努めたい。  
 ■その他、地下水・湧水の保全や涵養、啓発のためにも、市が行う打ち水イベントでの雨水の活用を求めました。

# 市長二年目の折り返し点 でのリーダーシップ



**齋藤康夫**(市民会議)

財政健全化は市の最優先課題であることは現在でも変わらないことを前提に質問する。(ア)西岡市長は選挙公報で市民力結集と掲げたが、「市民力」「結集」とは何か。そして、それをどのように活用するのか。また、市長として政策の決断はどのようなか。(イ)都市計画道路

声を聴くと言うなら、それを覆すためには他の2つの方法を実施するしか方法はない。  
**市長** (ア)市民の声を広く聴いて集約し、政策決定することが大切である。小金井市には各分野で活躍されている市民がいる。その力を活用するために、審議会、パブリックコメント、ワークショップ、市民懇談会などを行っている。(イ)現段階では市民投票という状況に至っていない。都と市民の意見交換会を重ね、お互いに様々な声を聞き合う場が必要である。